

2016年度
第101期

IR通信

2016年4月1日～2017年3月31日



株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

2016年度におけるわが国経済は、企業収益・雇用・所得環境など総じて改善し、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

建設業界におきましては、公共投資・民間設備投資とも底堅い動きが続き、受注環境はおおむね堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、中期及び年度経営計画に掲げる①受注の確保・拡大、②利益の確保・拡大、③活力を生む“人づくり”、④品質の向上への諸施策に取り組んできた結果、2016年度の業績は以下のとおりとなりました。

売上高につきましては、太陽光発電設備工事が減少したものの、電柱建替等の配電線工事の増加や連結子会社が2社増加したことなどにより前年度を上回りました。

営業利益につきましては、継続して原価低減に努めましたが、M&A関連費用などの販管費の増加により前年度を下回りました。

経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、営業利益の減少及び投資有価証券償還益がなかったことなどにより前年度を下回りました。

今後の経済見通しにつきましては、引き続き緩やかな回復が続いていくことが期待されますが、海外経済や金融市場の動向などにより景気が下押しされるリスクがあります。

このような状況のもと、当社グループは、将来にわたり持続的な発展を遂げていくため、「経営基盤の強化と更なる成長」をテーマとした中期経営計画(2015～2017年度)において4つの主要施策に取り組み、人材育成・M&A等への将来を見据えた投資を積極的に行っております。

今後はこれら4つの施策に加え、時代の要請でもある働き方改革を推し進めるとともに、成長投資を着実に推進し、当社グループ一体となって中面頁特集2の中長期ビジョンの実現を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも当社グループの事業に格別のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2017年6月



連結業績

売上高	1,479億3千5百万円 (前年度比 0.1%増)
営業利益	96億7千5百万円 (前年度比 11.9%減)
経常利益	118億7千1百万円 (前年度比 19.8%減)
親会社株主に帰属する当期純利益	92億7千3百万円 (前年度比 14.8%減)

代表取締役会長

神出 亨

Jinde Toru

代表取締役社長

小畑 博文

Obata Hirofumi



連結決算ハイライト

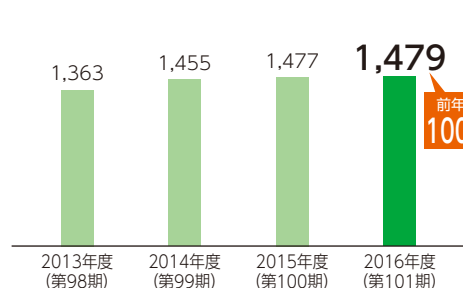
決算POINT

[増収減益]

5期連続で増収、一方で成長に向けた投資による販管費増により減益

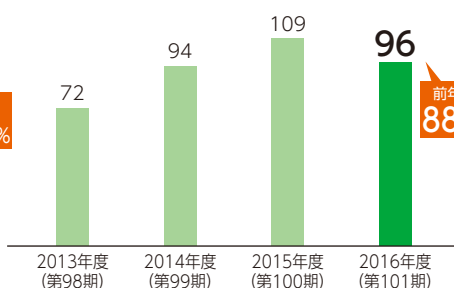
売上高

(億円)



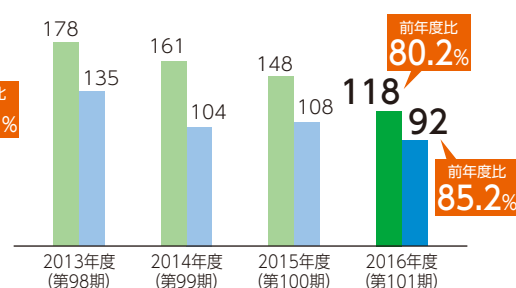
営業利益

(億円)



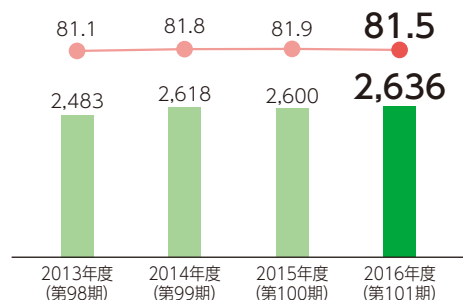
経常利益／親会社株主に帰属する当期純利益

■ 経常利益 (億円) ■ 親会社株主に帰属する当期純利益 (億円)



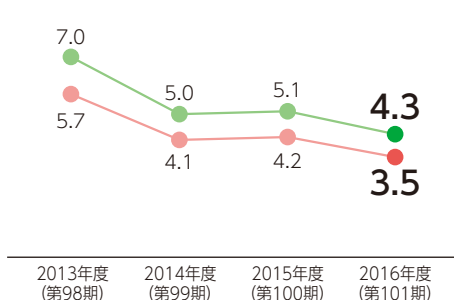
総資産／自己資本比率

■ 総資産 (億円) ● 自己資本比率 (%)



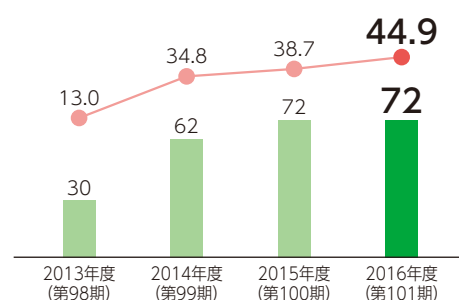
自己資本利益率(ROE)／総資産利益率(ROA)

● ROE (%) ● ROA (%)



配当金／配当性向

■ 配当金 (円) ● 配当性向 (%)



	2013年度(第98期)	2014年度(第99期)	2015年度(第100期)	2016年度(第101期)
1株当たり当期純利益 (円)	229.81	178.29	185.97	160.20
1株当たり純資産額 (円)	3,426.03	3,638.40	3,654.78	3,844.92

工事種別受注高・売上高(個別)

受注高 1,433億円

売上高 1,325億円



屋内電気工事

50.7%

	2015年度 (第100期)	2016年度 (第101期)
受注高(億円)	765	739
売上高(億円)	716	672



配電線工事

25.0%

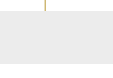
	2015年度 (第100期)	2016年度 (第101期)
受注高(億円)	321	331
売上高(億円)	320	331



空調管工事



情報通信工事



送電変電工事

	2015年度 (第100期)	2016年度 (第101期)
受注高(億円)	204	256
売上高(億円)	216	218

	2015年度 (第100期)	2016年度 (第101期)
受注高(億円)	48	57
売上高(億円)	42	50

	2015年度 (第100期)	2016年度 (第101期)
受注高(億円)	57	47
売上高(億円)	48	51

売上高
構成比

16.5%

3.9%

中期経営計画(2015～2017年度)の状況ご報告

当社は、2017年度を最終年度とする3カ年中期経営計画を推進しています。

「これまでの主要施策の継続による地域に密着したコア事業の強化」と「将来を見据えた成長戦略による事業の拡大」を目指し、すべてのステークホルダーから高い信頼、高い評価をいただけるようグループ一丸となって取り組んでいます。

I テーマ 経営基盤の強化と更なる成長

II 主要施策

1 受注の確保・拡大

- ▶中国地域における営業基盤の強化
- ▶都市圏の事業拡大 ▶成長戦略による事業拡大

3 活力を生む“人づくり”

- ▶中電工グループ全体での人材の確保 ▶次世代リーダーの育成
- ▶「より高度な仕事をする」環境の構築

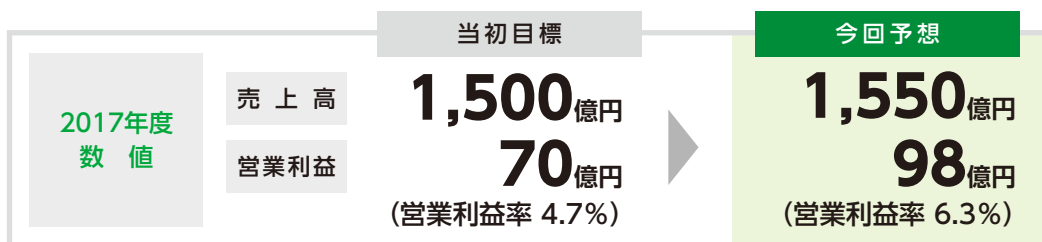
2 利益の確保・拡大

- ▶適正な原価管理の徹底
- ▶中電工グループ全体での生産性の向上

4 品質の向上

- ▶お客様満足度の向上

III 数値目標(連結)



IV 持続的な成長のための投資

成長戦略に向けて、M&A、研究開発、従業員等への投資を推進し、投資枠として300億円を設定する。

取り組み状況

成長に繋がる投資

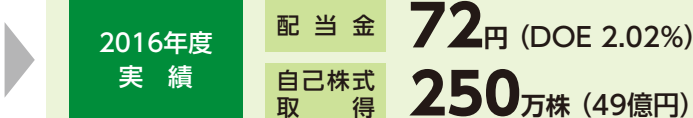
- M&A(2社実施)
- 太陽光発電事業
- 農業関連事業

研究開発、従業員への投資

- 安全品質、エネルギー関連等の技術研究開発
- 従業員のレベルアップに繋がる人材育成の強化
- 子会社・協力会社への教育支援等による体制整備

V 株主還元

持続的・安定的なより高水準の配当を行うことを重視し、DOE(連結株主資本配当率)2%を目処に配当を行う。また、必要に応じて自己株式取得を実施する。



なお、2017年度より、今後の業績見通しや財務状況等を総合的に勘案し、更なる株主還元の充実を図るため、DOE(連結株主資本配当率)2%目処を2.5%目処に変更する。



中電工グループ 中長期ビジョンの策定

当社は、創立80周年となる2024年度での当社グループの目指す姿・目標を設定しました。

I テーマ 変革と成長を遂げる 中電工グループ

II 目指すグループ像

- ▶従業員一人ひとりが働きがいを持って活躍するグループ
- ▶中国地域だけでなく都市圏・海外でも存在感を発揮できるグループ

III 数値目標(連結)



施工実績

 屋内電気工事

 空調管工事

 情報通信工事

 配電線工事

 発送変電工事



エネコム広島ビル
(広島県広島市)



**川崎医科大学
総合医療センター**
(岡山県岡山市)



島根・出雲第一・第二メガソーラー発電所
(島根県出雲市)



**配電線工事
作業現場**



西ノ島変電所新設工事
(島根県隠岐郡)



鳥取赤十字病院
(鳥取県鳥取市)



**山口地域ケアセンター
湯田温泉病院**
(山口県山口市)



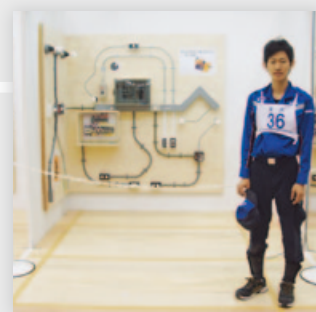
愛媛大学医学部附属病院
(愛媛県東温市)

2016年
10月

第54回技能五輪全国大会で2名が入賞

10月22日に山形県天童市で開催された「第54回技能五輪全国大会 電工の部」に当社から5名の選手が出場し、中上陽貴選手が銅賞、初出場の森田敦也選手が敢闘賞を受賞しました。

このたびの2名の入賞により、当社は2010年からの連続入賞記録を伸ばしています。



▲銅賞を受賞した中上選手

2016年
11月

おかげさま旬間を実施

11月7日から16日までの10日間、お客さまや地域の皆さまへ日頃のご愛顧に対する「感謝」の気持ちをお伝えるため、「おかげさま旬間」を実施しました。

各地域で清掃活動や設備点検などの奉仕活動を行ったほか、小学校への電気に関する冊子の寄贈や、高校生を対象とした安全実習棟の体験・見学会、高所作業車の搭乗体験会などを行いました。



▲高所作業車での樹木伐採

2017年
1月

作業服をリニューアル

このたび25年ぶりに作業服をリニューアルし、1月から着用を開始しました。

総合スポーツメーカーのミズノ株式会社と共同で企画・製作し、「安全性・機能性・作業効率の向上」を図ったデザイン・カラーへ刷新しました。機能・素材はミズノ株式会社のスポーツウェア開発のノウハウが生かされ、高ストレッチ性、制電性、吸汗速乾性を備えた高機能素材が採用されています。さらに、従来の作業服は1種類のみでしたが、今回は管理者用と作業者用の2種類を製作し、サイズ展開も豊富になりました。



▲左：作業者用、右：管理者用

2016年
12月

「ひろしまマイスター」(当社社員)による出張授業を実施

12月から2月にかけて、中国5県の高等学校で「ひろしまマイスター」の当社社員が出張授業を実施しました。今年度は、屋内電気工事に使用する工具類の取り扱い方や、ケーブル接続、金属管・ビニールパイプ曲げなどの実技指導を行いました。

この出張授業は2014年度から実施しており、2017年度も引き続き実施する予定です。



▲授業の様子

2017年
2月2017年
3月

びわ湖毎日マラソンで大崎選手が8位入賞

3月5日に滋賀県大津市で開催された「第72回びわ湖毎日マラソン」において、大崎翔也選手がチーム新記録となる2時間12分07秒のタイムで8位入賞(日本人5位)、大会新人賞も受賞しました。

【大崎選手コメント】

今回は2時間12分台を目標に掲げ、スタート後は先頭集団についていきましたが、5キロ過ぎで離れてしまい力の差を見せつけられました。それでも諦めず自分の力をすべて出し切ろうと気持ちを切り替え、目標を達成することができました。

次は2時間10分～11分台を目標にし、またチームとしてもニューイヤー駅伝に出場できるよう、力をつけていきたいと思っています。



▲好走した大崎選手

会社概要 (2017年3月31日現在)

設立年月日	1944年(昭和19年)9月29日
資本金	34億8,190万5,850円
従業員数	3,455名
主要な事業内容	屋内電気工事、空調管工事、情報通信工事、配電線工事、発送変電工事の設計施工
本店	広島市中区小網町6番12号
主要な事業場	広島・岡山・山口・島根・鳥取統括支社、東京・大阪本部、九州支社、電力建設所

株式の状況 (2017年3月31日現在)

発行可能株式総数	260,000,000株
発行済株式の総数	56,113,407株 (自己株式2,024,710株を除く)
株主数	5,424名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
中国電力株式会社	21,892,259	39.01
いちごトラスト・ピーティーイー・リミテッド	1,840,500	3.28
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・株式会社もみじ銀行退職給付信託口)	1,673,900	2.98
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,591,700	2.84
株式会社中国銀行	1,398,619	2.49
株式会社山陰合同銀行	1,256,481	2.24
明治安田生命保険相互会社	1,129,465	2.01
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,097,200	1.96
株式会社広島銀行	1,036,180	1.85
株式会社山口銀行	1,000,279	1.78

(注) 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式2,024,710株を控除して計算しております。

役員 (2017年3月31日現在)

代表取締役会長	神出 亨	取締役 熊崎 村夫
代表取締役社長	小畑 博文	取締役(社外取締役) 榎田 好一
代表取締役副社長執行役員	畠 由紀男	取締役(社外取締役) 見立 和幸
取締役専務執行役員	金山 隆幸	常任監査役 四方田 茂
取締役専務執行役員	法宗 亨昭	監査役 廣田 充
取締役専務執行役員	國木 恒久	監査役(社外監査役) 椎木 タカ
取締役専務執行役員	伊藤 聖彦	監査役(社外監査役) 川平 伴勅
取締役専務執行役員	堤 孝信	監査役(社外監査役) 松村 秀雄
取締役専務執行役員	緒方 秀文	

株主メモ

決算期日	毎年3月31日
定時株主総会開催時期	毎年6月中
同総会権利行使株主確定日	毎年3月31日
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
-----------------------	---------------

同事務取扱場所・問合せ・郵便物送付先
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777 (通話料無料)
自動音声応答サービス
0120-684-479 (通話料無料)

公告方法
電子公告により、当社ウェブサイト
(<http://www.chudenko.co.jp/info/topic/news.html>)
に掲載いたします。
ただし、やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、広島市において発行する中国新聞ならびに日本経済新聞に掲載いたします。

上場証券取引所	株式会社東京証券取引所
---------	-------------

重要なお知らせ

特別口座の株主さまへ

株券電子化により、すべての上場会社の株式は、証券会社等の口座で電子的に管理されるようになりました。株券電子化移行時点で、証券会社を通じ株券を「株式会社証券保管振替機構」に預けられていなかった株式、あるいは単元未満登録株式等株券が発行されていない株式など、**証券会社の株主さまの口座で電子的に管理されなかった株式は**、株主権保護のため、当社が株主さま名義で三菱UFJ信託銀行に開設した特別口座にて電子的に管理しています。

しかしながら、特別口座に記録された株式は、このままでは証券市場での売却等ができないばかりか、相続手続きが煩雑になるなど制約がございます。

つきましては、次の当社特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行へご連絡のうえ、「口座振替申請」のお手続きを行っていただきますようお願いいたします。

特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
☎ 0120-094-777 (通話料無料)

単元未満株式(100株未満の株式)をお持ちの株主さまへ

当社の株式は、100株が1単元(売買単位)となっており、100株に満たない株式(単元未満株式)は、市場で売却することができません。

単元未満株式は、当社に対して買取請求(売却する)、または買増請求(買い増して100株にする)ができますので、ご検討いただきますようお願いいたします。

【お問い合わせ・ご請求先】

① 証券会社に単元未満株式をご所有の株主さま
株主さまの口座がある証券会社

② 特別口座に単元未満株式をご所有の株主さま
特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
☎ 0120-094-777 (通話料無料)

ご注意

このお知らせは、口座振替申請・買取請求等を強制するものではありません。本手続きに際しましては、株主さまご自身でご判断くださいますようお願いいたします。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



環境にやさしい植物油インキ
(ベジタブルインキ)を使用
しています。